

東京後楽ロータリークラブ週報

The Rotary Club of Tokyo Koraku Weekly Report



インスピレーションになろう

「ロータリーを味わおう！！」

2018年～2019年度 会長
藤田 哲朗

「インスピレーションになろう」

2018年～2019年度 国際ロータリー会長
バリー・ラシン

経済と地域社会の発展・米山月間

2018年10月30日発行 (No. 885)

第885回 例会

卓話「RLIについて」

地区RLI準備委員会 副委員長

飯村 雅洋 氏(東京武蔵野中央 RC)

香月信夫氏(佐賀大和)
高橋太郎氏(本多会員ゲスト)
出席率:72.97% 前例会修正後:83.78%

ニコニコBOX

福田会員:先日の地区のゴルフコンペで恥ずかしながら、
ブービー賞を頂きました。練習に励みます。

ミリオンマイルズ:1,882円 本年度合計:428,158円

例会案内

11月5日「北分区合同例会(IM)」

日時 2018年11月5日(月) 16:00～20:00

会場 上野精養軒(桜の間)

合同例会

16:00 開会点鐘

・基調講演 「クラブの活性化」 松坂順一ガバナー

・卓話 「バチカンの聖と俗」

講師 元駐バチカン大使 上野景文 氏

懇親会

18:30 開会

・歌・演奏 シャンソン歌手 SAKURA.

20:00 閉会

CLUB NEWS

- ◆ 10月2日の例会に、第55期青少年交換委派遣予定学生の木村真理子さんがお母様とご挨拶に来会されました。藤田会長から当クラブのバナーをお渡ししました。カウンセラーは、石毛会員です。



- ◆ この度石毛会員は、ロータリー日本財団に10万円のポリオ寄付を致しました。
- ◆ 10月27日(土) 東武レバント東京で開催の「東京東江戸川ロータリークラブ創立50周年記念式典」に、藤田会長、菊池幹事、大牟田地区職業奉仕委員長、志熊地区青少年交換委員が出席致しました。
- ◆ 10月29日(月)上野精養軒に於いて「第1回北分区会長・幹事会」が開催され、藤田会長と菊池幹事が出席致しました。

前回例会

第884回例会

卓話「声と言葉を磨いて伝える力をつけよう」

声優 のぎき きいこ 氏

出席状況

第884回例会

出席 27名 欠席 13名

ビジター 1名 ゲスト 1名

11月6日 休会

11月13日 クラブフォーラム(R財団月間)

10月24日は「世界ポリオデー」です！

ポリオは一度感染すると治療法はありません。
しかしワクチンで予防することができます。
ポリオワクチンを発明したジョナス・ソーク博士の
誕生日に因んで、10月24日が「世界ポリオデー」
と定められました。
1985年以来、18億ドルを投入し、ロータリーが最優先として取り組んでいる活動です。

TEL: 03-5940-3355 FAX: 03-3947-4010 E-Mail: koraku@mint.ocn.ne.jp

例会 毎週火曜日12時30分 / 東京ドームホテル 電話: 03-5805-2111

事務局 〒112-0014 文京区関口2-10-8 藤田観光(株)別館内

会長 藤田 哲朗 / 幹事 菊池 修一郎 / 会報委員長 戸部 昇

URL <http://korakurotary.com>

第880回 例会 卓話「地区職場・就業体験委員会」について

地区職場・就業体験委員会 委員長 澤部利蔵氏

未来を担う青少年の教育の課題ということで、今まで地区ではインターンシップと言っておりましたが、統一されて就業体験という名称になりました。学校教育、社会教育、家庭教育この3つの中で、ロータリーは社会教育に協力できます。中学生・高校生に仕事を体験させようということです。職場見学とは何が違うのか、見学するのと実際仕事をするのでは違います。職場体験と就業体験の違いは、地区のホームページに記載されていまして職場体験は中学生を指します。実際の職場で社会の一員であることの自覚を促す。就業体験は産業の現場で自分の学習内容や進路に関連した就業体験をすると記載しています。



中学生の職場体験は東京都の職場体験推進協議会という組織があり、色々な団体が参加しておりますが国際ロータリー 2580 地区として委員会のメンバーになっております。就業体験高校生の方は毎年東京都と協定を結んでおります。都立高校はおもに実業・商業高校としっかり協議会を通じて推進しています。公立の中学・都立（公立）の高校と連携してます。実施状況は平成17年は40%でしたが、皆さんのご協力により、ここ数年は100%の推進状況になってます。中学生がしっかり職場体験ができている環境になってます。公立中学・一部の公立高校の生徒や学校側の職員は、この事業をよく理解されていて学校の授業の中で100%トラブルがなく実施されてます。しかし私立の学校の生徒はクラブ活動で勝手にインターネットで調べ電話することがあるようです。こういう電話があった場合はいったんお断りして頂きたい。学校側がちゃんと把握してますかという事と、傷害保険や賠償責任保険に入ってるかをご確認ください。我々ロータリーとしては受け入れ事業所の登録を紹介しているにすぎませんので、もし事故があった時とか、何かあった時には責任が取れませんのでリスク管理をして下さい。東京都では今小学生から体験させてたほうが良いと言っております。子供達が目標を持つということが遅れていると危機感を持っています。大学生に於いては、課題とかレポートなど目的とかまとめる能力が薄くなってきてますので教授達はキャリア教育の中に期待していると言っております。東京都はニート対策とかいじめ問題引きこもり問題というのを表に出して広く周知させようとしています。子供達は心も体も発達していく段階でいろいろ悩みます。何でこんな事をやらなくってはいけないのかという子もいれば、率先してやる子もいる。教育の一環で職場体験をすることに何の意味があるかということは、いじめとかニートとか色々なことを含めて自分一人ではないんだ、地域と繋がっているんだ、家族と繋がっているんだ僕たち私たちは仕事をもって社会貢献して家族を守らなければいけないんだということを体感してもらう絶好の機会になると思います。自分のお父さんお爺ちゃんが何をしてきたのかということに興味をもって中学・高校での自己形成になればよいと思います。東京都の方では毎年1月に中学生の職場体験発表会を行っています。今年度は2019年1月18日東京都庁5階の第一会議室で行われます。

体験日数の推移、東京都は5日間の職場体験を推進しています。子供は初めての職場体験で見ず知らずの大人たちと職場体験と一緒に仕事するだけで大変緊張してしまい、1日2日目はほとんど緊張の連続です。3日4日で少し慣れ5日目になり気持ちが安定します。これは何が狙いかと言うと創意工夫と満足感をワンクールで事業所さんに協力頂けないかということをおっしゃっています。受け入れ側のメリット・デメリットについてデメリットとしてはその時間、職員の時間であったり、空間であったり、割かなければなりませんし、準備したりとか何でこんな事をしなければならぬのかということです。でもメリットとしては自分の会社のスタッフが子供たちを受け入れたときに自分たちが何の仕事をしているのかを確認できた。うちの会社は良い仕事をしてたんだということを改めて知った。子供たちに教えるには、専門用語は使えないので解り易く噛み砕いて話すので新入社員に教える参考になった。地域社会にもこの会社は職場体験を受け入れているんだとアピールにもなったということです。是非職場体験先事業所の登録をお願いします。